

第19回 さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会 会議録

- 1 日時 平成19年3月28日(金) 午後7時～午後8時
- 2 場所 サークル室(文京シビックセンター12階)
- 3 出席者 専門委員会委員 内山巖雄委員長、安達修一委員長職務代理、名取雄司委員、松平隆光委員、前田峰子委員、永倉冬史委員、今井桂子委員、森英記委員
専門委員会幹事 大角男女協働子育て支援部長、大黒保健衛生部長、太田資源環境部長、奥山施設管理部長
区職員 久住保育課長、手島環境対策課長、中村施設管理課長、佐藤保育係長、大澤主事

4 配付資料

資料第9号「肺癌の認定要件に関する確認事項」

資料第10号「子ども向けパンフレット最終原稿」

資料第11号「次期委員(案)」

5 会議進行

(1) 見舞金支給、協定締結及び健康手帳配布の状況について(報告)

保育課長 前回報告した内容(資料第7号)と変わっていない。

見舞金については、104人中101人に支給した。依然として、2世帯3人の外国籍で出国した方については、所在を知るすべがない。所在がわかれば、その都度、お支払していくので、情報提供いただきたい。見舞金の支払いは、自動的に支払われるわけではなく、本人からの振込み先の連絡により行っているため、協定や健康手帳についても、状況は把握されていると考えられる。ただ、協定については、108人中86人、健康手帳については、75人ととどまっている。引き続き、協定と健康手帳について、対応していきたい。

委員長 外国籍で2世帯3人については、不明とのことなので、もし連絡などがあつたら、区の方に知らせてください。

(2) 肺がんの判定基準の策定について

委員長 前回文章で出していたものを事務局の方で、箇条書きにまとめた。文言を確認させてほしいとのことである。

保育課長 資料5号として提示されていたものから、肺癌の認定基準の部分について、前回の議論でご指摘された部分を修正して、まとめたものである。読み上げる。

委員長 前回の議論と違うところがあれば、ご指摘ください。

委員長 最後の「区と保護者の推薦する法律関係者」というのは、ふたりということだったのか？

委員 最低一人づつという事である。

委員長 では、これは覚書ということで、今日の委員会で確認したことにする。

(3) 子ども向けパンフレットの作成について

保育課長 今回は、イラストを含めて、今までの議論で指摘された点を修正し、ルビを振ったものを提示している。1ヶ所、7ページに訂正がある。誤字・脱字については、もう一度チェックして、これでよろしければ、印刷・発行の手続きを進めたい。前回、一般的な内容のものも作れるのでは、ということだったので、一部内容を抜粋したものを資料15-2で提示している。

委員長 表紙やイラストの吹き出しにも、ルビを振ったらどうか？

委員 文末にマルがないところが、何ヶ所かある。

委員 9ページの「病気を引き起こさないために何をするか考えたり」の前に「今後」という言葉を入れた方がいいのではないか。

それから、11ページの「ちがいます。」は、「そうではありません。」という言い方がいいのではないか。

- 委員長 11ページの「簡単に病気が起こるとは考えにくいと専門家の先生は言います。でも、まったく起こらないともいいきれません。」は、「簡単に病気が起こるとは考えにくい。でも、まったく起こらないともいいきれません。と専門家の先生は言っています。」にした方がよい。
- 委員 14ページの「2004年以降使うことは禁止されていますが」とあるが、まだ100%禁止ではないので、「2004年以降ほとんど使うことは禁止されていますが」とかにした方がよい。
- 前に指摘したが、4ページの「7日間続きました。」のところは、7日ではなくて14日間ではないか。委員会の報告書で確認してください。
- 委員長 発行については、年月日を入れた方がよいのでは？
- 「20年3月 第1版」と入れることにする。
- 委員長 では、月曜日までに、何かお気づきの点があったら、連絡をください。
- 委員 13ページのイラストは、これでよろしいか？
- 委員長 子どもの教育上、大腸がないのが気になる。
- 委員 複雑になってわかりにくくなるのでは？
- 委員 肺が黒いのは気になるので、ネガポジを逆にできればよいのだが。
- 森委員 できるかどうかわからないが、要望は作成者に伝える。
- 保育課長 31日（月曜日）までに、ご指摘をいただければ、森委員と調整のうえ、発注していきたい。
- 委員長 これは、何部刷って、どこに配布するのか？
- 保育課長 基本的には、108プラス・アルファと考えている。厚い方は、皆さんに配布する。薄い方は、アスベストセンターや図書館等に配布する。
- 委員 イラストの方の名前は、出した方がよいのではないか。
- 委員 国会図書館や都立中央図書館には、送った方がよい。
- 保育課長 次回の委員会で、配布先のリストを示したい。
- 委員 汎用のものを増刷したいというときには、委員会に諮ればよいのか？
- 委員長 誰かがこれを販売してはまずいので、「非売品」と表示した方がよいのでは。
- 保育課長 汎用のものをどなたかが使う場合に、「文京区では」とあるのは、どうなのか？
- 委員 そういう変更をしいいかどうかの判断もある。
- 森委員 増刷といっても、今回ぎりぎりの予算でやっているのだから、同じ金額でと言われてもできないかもしれない。
- 委員 具体的な話になったら、また皆さんにご提案する。
- 委員 これは、pdfになるのか？
- 保育課長 データをいただければ、ネットには載せられる。
- 委員長 イラストの著作権を書いておいて、「ご自由にお使いください。」とするのがよいのでは。やはり、販売されては困るから、「非売品」と入れておいた方がよい。
- 委員 ネットに載せるときは、「イラスト・作者の許可を得た上で、」とかの文言をつけた方がよい。営業目的で、使わせてくれという話も出てくるので。
- 委員長 個人で使うときには、ダウンロードは自由だが、大量に印刷する場合には、許可を得るようにした方がよいのでは。
- 森委員 その辺の扱いについては、再度確認する。

(4) 任期満了に伴う委員の交代について

- 保育課長 資料11で示したように、現在、推薦と内諾をいただいている。神山先生については、後任のご連絡をいただいている。それから、今井委員と森委員については、本日、ご提案いただけるとのことである。
- 今井委員 長松康子さんを推薦する。
- 森委員 黒田健夫さんを推薦する。
- 委員長 神山先生は、お忙しければ、11人以内とのことなので、10人にして、何か、もし測定部門でご意見いただきたいときには、オブザーバーとして加わっていた

だくことでよろしいかと思う。

常設としては10人で、再任が4人となるので、6人が交代した。

では、これで、委員全員合意により、次の委員を推薦することとする。

(5) 次期の開催スケジュールについて

委員 長 今回、協定と肺癌の認定基準、パンフレットの作成など、大体の懸案事項は解決することができた。第2期にも入るので、最低年1回開催ということだが、今年度は2回くらい開催できたらいいのではないかと思う。

パンフレットが刷り上って、委員の顔合わせということで、5月くらいはどうか。

保育課長 5月の終わりくらいなら、できるのではないか。

委員 長 そのくらいに、新委員の顔合わせということも含めて開催したい。そのときに、次回を決めたい。次年度は、2回くらいでどうか。定期的には2回くらいにしておいて、何かあれば、その都度招集する。来年度くらいは、講演会とかできればと思う。

保育課長 それでは、5月末で日程調整をする。

委員 長 事務局に日程調整をお願いする。時間は、7時からということにする。

(6) 心理相談・健康リスク相談の体制について

保育課長 第16回の専門委員会で、相談については、5月・8月・11月・2月の年4回開催ということで確認されている。体制については、どうするのか、ご確認いただきたい。

委員 長 健康リスク相談は、樋野先生と塩見先生に最初からやっていただくのは難しいので、名取先生と私とでやる。そのうちに、樋野先生や塩見先生にも、徐々に加わっていただく。私と名取先生の都合のよいときに、年2回くらいずつやる。心理相談の方は、前田先生は、お一人をお願いする。

5月は、24日(土)に、前田先生と私とでやる。

委員 ニュースの発行とかは、どうするのか？

保育課長 前回、前々回くらいは、こちらで議事録からワープロで文面を作成して、レイアウトだけ森委員をお願いした。

森委員 レイアウトをやることに関しては、今のところすぐに止めるつもりはない。

保育課長 新しい委員が選任されたこととパンフレットの発行についてのニュースを4月の終わりくらいには、1回発行したい。

(7) その他

委員 長 予定していた議題は終了したので、本日はこれで終了する。平成16年からの4年間にわたる懸案事項を解決できたのは、皆さんのおかげである。本当にありがとうございました。次回からは、第2期として再出発するので、よろしく願います。